

建設通信新聞

7次元で維持管理 CIM概念示す

JACCセッション
佐藤国交省顧問が講演

日本建設情報総合センター（JACC）は7日、東京都江東区の東京国際交流館で、CIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）に関するセッションを開いた。写真。土木学会土木情報委員会とアジア土木情報学グループが主催する「第1回土木建築情報学国際会議」のプログラムの一つで、CIMの今後などについて意見を交わした。

セッションでは、国土交通



省の佐藤直良顧問が基調講演を行い、CIMを活用したインフラ管理の枠組みの再構築などを提唱した。佐藤顧問は3次元データに時間、安全性、環境、価値という4つの視点を加えた「7次元での維持管理」を打ち出し、CIMと社

会資本管理システム、国土管理情報システムが連携した「CIM（シビル・インフラストラクチャー・インフォメーション・マネジメント）」という新たな概念を発表した。

また、「日本におけるCIMの動向と国際協調によるプロダクトモデルの構築」をテーマに、パネルディスカッションも実施した。その中で、国交省の取り組みを紹介した高村裕平官房技術調査課建設システム管理企画室長は、調査・設計段階での試行範囲の拡大や積算、納品基準の作成などを当面の課題と検討方針に挙げた。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| ⑬ 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海 |
| 16. 建設工業 | | |

平成25年11月8日(朝)・夕) P2